

大規模沖合養殖システム:サクラマス生産管理システムの開発

■ 売上拡大/コスト削減を同時に実現すべく、サクラマスに特化した生産管理システムの開発に取り組みます。

養殖業成長産業化総合戦略をはじめとする政策の目指すところ

経営の安定と持続的成長

これを下支えるシステムの要件

- 魚種拡大への対応(市場領域の拡大)
- 生産規模拡大への対応(事業の拡大)

実証事業として展開

サクラマスを対象とした、養殖生産の効率化を図る生産管理システムの開発

そのためには

トップライン(売上)とボトムライン(コスト)を同時に改善する生産手法の確立が不可欠

その方法は

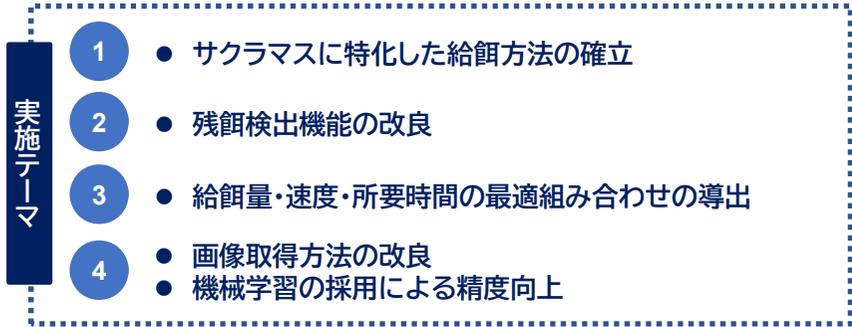


生産・システム間の相互フィードバックにより、生産性を向上し続ける仕組みを構築

実証事業のテーマ

解決すべき課題

- 魚種に対する最適化
- 生産規模(生簀サイズ)に対する最適化

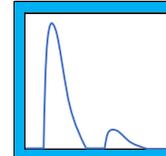


目指すゴール

- サクラマスに特化した生産手法の確立
- 生産管理システムの機能・価値向上

開発項目の内容(一部抜粋)

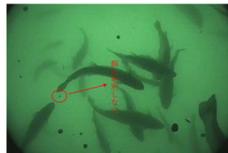
検証する給餌方法



魚・残餌の検出



機械学習を用いた画像処理



- 魚種特有の摂餌特性を可視化し、サクラマスに対する最適な給餌方法を導出。

- 現状のカメラ仕様では、条件によっては判定精度が低下する課題あり。
- カメラ仕様を最適化し、精度を向上。

- 現状の画像処理方法では、条件によっては判定精度が低下する課題あり。
- 機械学習により、精度を向上。